

慶雲寺報

◎NEWS

* 孟蘭盆会 秋彼岸会

夏以降、ご先祖さまと向き合う季節行事が続きました。今年のお盆は雨模様…。スクーターで回る予定の柵経をやむなく車で回ることになるなど、なかなか苦労いたしました。酷暑と雨とどちらが良いか？うん悩むところです。

秋のお彼岸入りは二十日でしたが、直前に祝日の敬老の日があり、分散型のお墓参りとなりました。とはいえ、お中日には多くの方がお見えになり、各家の墓地にきれいなお花が供わりました。

* ミュージカルブッダのご案内

県仏教会創立70周年を記念して来年2/22文化会館大ホールを会場に、手塚治虫原作のミュージカルブッダが上演されます。

観覧希望の方は、HPまたは寺へお問い合わせください。



☆こんな時どうすれば？☆

時代の流れもあるのでしょうか？ご葬儀の打ち合わせの際、次のようなご相談を受けることがあります。

「ご葬儀の規模を小さくしたいのですが…」

ごく近いお身内によるいわゆる「家族葬」については、当家のイメージをよく伺ったうえで、寺としても対応しております。

しかしながら、規模を小さくすること、別れの儀式を簡略化することはイコールではありません。参列者が少なからうと、儀式は割愛せず通夜葬儀としつかりお勤めいただくことが、故人への正しい向き合い方かと存じます。

また、当日は少人数でお見送りしたとしても、後日訃報を耳にした方がお参りに見えるなど、事後対応のご苦労もあると伺います。葬儀社の勧めで即断せず、いつでも菩提寺へご相談ください。

◎平成二十九年年度

初徳米献供功德主

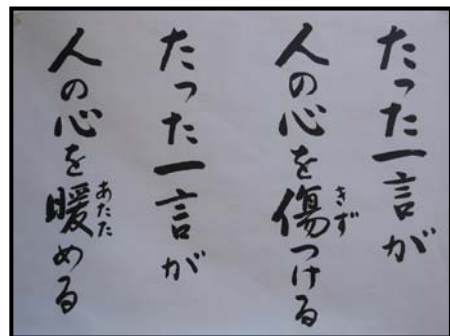
為 当在先祖代々報恩感謝

- 中里 千司 殿(天王原)
- 渡辺 美郎 殿(北ノ内)
- 田中 繁 殿(町田)
- 斎藤 泰久 殿(新谷) 十月二十五日現在
- 斎藤 宏行 殿(町田) 献供順

ご先祖様から受け継いだ田んぼで取れた新米をお供えいただきました。心を込めて炊き上げ、功德主の皆様の想いを込めて、本尊様に朝のお仏餉としてお供えいたしました。

◎伝道掲示板から

強烈な言動で元議員さんが週刊誌で叩かれたのはつい先ごろ。私たちはヒトとして言葉を使う能力を持つ以上、発する言葉を受けた相手がそれを



と示しておられます。

相手の非をあげつらうような悪意に満ちた言葉は三度顧みるうちにぐっと飲み、思いに任せて言葉にしないよう心掛けねばならないでしょうし、たとえ何かを指摘する時でさえ、相手が素直になぜけるよう言葉をしっかりと選ぶことが大切になるでしょう。

やさしい言葉は、穏やかでまるい心が原点です。日頃から自分の心を点検し、自然と周りに暖かみを及ぼす言葉を使えるようになりたいですね。

◎山門大施食会が行われます

来月、11月16日(木)午後1時半より、慶雲寺施食会(せじきえ)法要が営まれます。

檀信徒各家の先祖供養のこの日、お時間お繰り合わせいただき、お参りのうえお塔婆をお受けください。